

1. 申請添付様式 1 発明概要 (青字は記入にあたっての注意事項)

発明概要 (申請の際は必ず記入し添付してください)

※本様式は、申請担当者の方が作成することを想定しています。記載内容について問い合わせをする場合があります。

申請の種類

申請の種類	(選択してください)
PCT 審査時の JST 申請番号 (【再申請】の場合)	S20xx-xxxx-N0

※指定国移行段階からの新規申請は、申請対象外となります。

申請案件の基礎出願番号 (指定国移行申請の場合は PCT 出願番号) を記載してください

基礎出願番号	
--------	--

※基礎出願が複数ある場合は、最初の基礎出願番号のみ記載してください。

要記入項目は申請の種類毎に異なりますので注意してください。

1. 発明の内容

要記入: PCT 申請 再申請 継続申請

発明の概略	
-------	--

[SDGs (持続可能な開発目標) への貢献] 『SDGs 持続可能な開発のための 2030 アジェンダ』で掲げられた世界的な 17 の目標への貢献について 最大 3 つを選択してください

要記入: PCT 申請 再申請 継続申請

SDGs への貢献(※)	(選択してください)
	(選択してください)
	(選択してください)

※目標の詳細、SDGs への貢献に関する JST の考え方については、以下の Web サイトを参照してください。

※JST 持続可能な開発目標 (SDGs) への科学技術イノベーションの貢献:

<https://www.jst.go.jp/sdgs/index.html>

2. 申請前調査結果

[発明者が出願前に発表した最も近似する技術]

要記入: PCT 申請 再申請

特許出願 (出願日)、論文等 (発表日)	本発明との差異、本発明の優位性

新規申請 (PCT 新規、再申請) の場合は必ず記入してください。申請機関による申請前調査が行われていない場合、受理できないことがあります。出願日前の発表がない場合には、出願後でも構いませんので、発明者自身の最も関連の深い論文等を記入してください。

[他者の公知技術・従来技術 調査結果]

要記入: PCT 申請 再申請

特許出願 (出願日)、文献等 (同一の技術・製造法等に関するものは、まとめて記載してください)	本発明との差異、本発明の優位性
使用データベース名: <input type="text"/> 検索期間: <input type="text"/> 検索式: <input type="text"/>	
使用データベース名: <input type="text"/> 検索期間: <input type="text"/> 検索式: <input type="text"/>	

検索したデータベース名、検索期間、キーワードを記入してください。

現在、入手困難な非特許文献等は、該当箇所の写しを必ず添付してください。

[発明相談・特許相談の利用有無]

要記入: PCT 申請 再申請 継続申請

申請前の発明相談・特許相談の利用の有無	(選択してください)	JST 担当調査員名及び、 JST 管理番号 (JST201x-xxx)	JST20xx-xxxx
---------------------	------------	---	--------------

※申請前に JST 担当調査員による発明相談や特許相談を受けた場合に記入してください。

本案件に関連して発明相談や特許相談を利用された場合は、本欄を記入してください。

3. 出願希望国と実用化計画

[応用が期待される用途] 有望なものから最大4分野を記載してください

要記入: PCT 申請 再申請 継続申請

主な具体的用途	開発の進捗	技術の完成度
	(選択してください)	特定企業とのライセンス交渉が進展し、具体的な製品開発が進んでいる場合は「展開中」、現段階では実施企業の候補がない場合は「想定段階」を選択してください。
	(選択してください)	
	(選択してください)	
	(選択してください)	

※開発の進捗については、特定企業とのライセンス交渉が進展し、具体的な製品開発が進んでいる場合は「展開中」、現段階では実施企業の候補がない場合には「想定段階」を選択してください。

[移行希望国と外国出願の必要性]

要記入: PCT 申請 再申請 継続申請

※PCT 申請: 国名には PCT と記載してください。

※指定国移行申請(再申請を含む): 支援を希望する国名を、7ヶ国を上限に記載してください。(欧州特許(EP)の記載は不要です。欧州は具体的な国名を1行に1か国でご記載ください。) EPC を経由せずに、PCT から欧州各国への直接移行を希望する際には、事前に公募要領記載の「1.0. お問い合わせ先」までご連絡ください。

希望順	国名	活動状況	契約企業又はライセンスの想定企業
1		(選択してください)	契約企業又は交渉先について、相手先企業名と国籍を記入してください。具体的な企業名を伏せても構いませんが、相手先の所属国については情報提供をお願いします。現地企業に対するライセンス活動だけでなく、日本企業との共同事業により当該国での事業展開が見込まれる場合も記入してください。
2		(選択してください)	
3		(選択してください)	
4		(選択してください)	
5		(選択してください)	
6		(選択してください)	
7		(選択してください)	

①有用性

-従来技術・競合技術に対する、「応用が期待される用途」についての本技術の優位性

②外国での出願・活用戦略及び技術移転計画

-先願・後願を含めた出願戦略

-ライセンス計画・予定時期、事業展開計画・予定時期、事業の市場規模等

図面等を使用した説明資料がある場合は、追加資料の有無にて「あり」を選択し、追加資料のファイル名をご記入の上、申請時にあわせて資料を提出してください。

追加資料がある場合には、自由様式で追加資料を別途添付してください

追加資料の有無	(選択してください)	追加資料ファイル名
---------	------------	-----------

4. 国内出願後(又はPCT出願後)の研究・開発進展状況

出願後の研究・開発の継続	(選択してください)	国内出願又は PCT 出願を行ってから、申請までの研究開発の成果の有無及び、それに基づく出願書類の修正等について記入してください。継続支援の審議では、PCT 採択時以降の進展が考慮されますので、状況について詳しくご記入ください。
出願後の成果	(選択してください)	
新たに取得されたデータ、実用化に向けた新展開等 <small>(PCT 出願前の申請では、国内優先権主張出願の予定の有無とその出願時期も記入してください)</small>		
出願後の成果に基づく PCT 出願/指定国移行手続き前の修正の有無	(選択してください)	新たに得られたデータ等に基づき、PCT 出願前/指定国移行手続き前に修正を行う予定がある場合には、追加・修正ありを選択してください。

※国内出願又は PCT 出願を行ってから申請までの研究・開発成果の有無について記入してください。

※また、出願後の成果に基づく PCT 出願/指定国移行手続き前の修正の予定がある場合、「追加・修正あり」を選択し、「新たに取得されたデータ、実用化に向けた新展開等」欄で、その内容がわかるように記載してください。

5. JST 他事業の利用希望

要記入： PCT 申請 再申請 継続申請

JST が実施する他の大学支援事業等への情報提供	(選択してください)
「大学発新産業創出プログラム」の申請情報の提供を希望する	(選択してください)
「知財集約制度 (知財譲受)」への申請情報の提供を希望する	(選択してください)

※「希望する」を選択された場合、今後、他の支援事業担当者より本件に関するご案内をさせて頂く場合があります。
 ※本項目の選択により他事業への応募・申請等を省略できるものではありませんので、注意してください。
 ※「大学発新産業創出プログラム」の概要はこちら <https://www.jst.go.jp/start/>
 ※「知財集約制度 (知財譲受)」の概要はこちら <https://www.jst.go.jp/chizai/shuuyaku.html> (知財譲受の項目を確認してください。)

6. その他

研究段階で JST による助成金を利用している/利用を計画している場合には、代表的な制度 1 つについて記載してください。

要記入： PCT 申請 再申請 継続申請

他の JST 公募事業・助成金利用の有無 (選択してください)	JST 事業名	応募年度 (西暦)	年
		採択状況	(選択してください)
		グラント番号 (JST 体系的課題番号)	JPMJ*****
		事業名	
日本医療研究開発機構 (AMED) 公募事業・助成金利用の有無 (選択してください)	採択年度 (西暦)	採択年度 (西暦)	年
		謝辞用課題番号	JP*****
		事業名	

※「他の JST 公募事業・助成金利用の有無」は、研究開発・技術移転活動における JST 事業の活用状況を記入してください。申請中又は採択されたものを記載してください。不採択となった申請については記載する必要はありません。
 ※「日本医療研究開発機構 (AMED) 公募事業・助成金利用の有無」は、当支援における知的財産審査委員会委員との利害関係の判断の為に使用します。申請に関連した課題が採択されている場合のみ左欄で”利用している”を選択し、採択されている事業名、採択年度、AMED「謝辞用課題番号」を記入してください。

7. 国際調査機関の否定的見解への対応

要記入： 再申請 継続申請

国際調査機関の見解	(選択してください)
否定的見解への対応 (国際予備審査請求)	(選択してください)
否定的見解への対応に関する補足	
国際調査報告書 第八欄「国際出願に対する意見」への対応 (審査官の意見が付されている場合、対応について必ず記載してください)	
JST による調査・審査の進め方	(選択してください)

※否定的見解への対応についての詳細は、公募要領を参照してください。

移行段階からの新規申請・継続審議申請において、PCT 出願時に基礎出願の内容に追加・修正等を行った場合には主な追加・修正事項について記入してください。

8. PCT 出願支援審査時の条件・要望とその対応 基礎出願からの主な追加・修正

要記入： 再申請 継続申請

①PCT 出願支援審査時の条件・要望事項への対応	
条件・要望事項	その対応
②それ以外の基礎出願からの主な追加・修正事項	
主な追加・修正事項 (請求項単位ではなく、関連する事項はまとめて記載して構いません)	JST コメントに基づく変更はチェック
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>
該当箇所が多い場合、又は複雑な場合などは、適宜、対比表等を追加資料として提出してください。	
追加資料の有無	(選択してください) 追加資料ファイル名

※PCT 出願審査時の「条件」を満足していない場合、原則、継続移行審査は「支援しない」となりますので、継続支援の場合には必ず PCT 出願審査時の「審議結果報告」を確認してください。
 ※指定国移行支援申請の段階からの再申請・継続申請において、PCT 出願時に基礎出願の内容に追加・修正等を行った場合には、主な追加・修正事項について記入してください。